

自宅で挑戦してみませんか？

これから紹介するものは強制ではありません。

自分の特技や趣味を生かして取り組みそうなことがあったら是非、挑戦してみてください。

1. 図書の「ポップづくり」や「紹介文」 おすすめの本で作ってみませんか。

ポップ（大和中図書館のもの）や紹介文（今年度課題図書）の例です。



『天使のにもつ』 童心社 いたうみく／著

中2の6月は5日間の職場体験がありますが、風汰はどこにも行く気はありません。先生に催促され、しかたなく決めたのが保育園。言葉遣いも挨拶も風汰流。でも、園長や保育士さんに見守られ、園児との交流を深めます。初日は疲れ果てた風汰ですが、しおん君が気になったり、かほちゃんに振り回されたりしながら、5日間で大きく成長します。

『11番目の取引』 鈴木出版 アリッサ・ホソグ スワース／作

サミの祖父はルバーブ奏者でした。サミは8歳の時、故郷のアフガニスタンで行われた結婚式で両親や親せきの多くの人を失ってしまいます。祖父と逃避行を続け、ボストンに落ち着いたのもつかの間、突然ルバーブを盗まれてしまいます。ダンやレイラの協力もあって、サミは祖父のルバーブを取り返すため奮闘します。その取引とは？

『平和のバトン：広島の高校生たちが描いた8月6日の記憶』 くもん出版 弓狩匡純／著

『次世代と描く原爆の絵』は広島市立基町高校の生徒が取り組んだ作品です。証言者の体験談を忠実に描くことは、容易なことではありません。何回も話を聞き、何度も描き直しをしながら、証言者との距離を縮め、より実際に近い描写をするのです。その時の証言者と生徒との思いを綴った作品です。戦争をちょっと違った視点から考える本です。

作品は、大和中学校の図書館に置いたり、たよりにしたいして発信します。

2. 手作りマスク

手作りマスクの作成方法は、大和中学校ホームページから入り、「マスクの着用と手作りマスク情報」を開いていただき、その中に「ハンカチ製造販売メーカー」や「NHKあさイチ」のページにあります。参考にしてみてください。

作品は、学校再開後に順次展示したり、伸樹祭に出展したいしたいと思います。

3. 「なぜ？」を追求してみませんか。

NHKの「チョコちゃんに叱られる!」でも放送されていますが、私たちは日常の素朴な疑問に答えられないものです。

例えば、「なぜ、葉っぱは緑なの?」、「青い野菜がないのはなぜ?」など、身の回りにも様々な疑問はあるのではないのでしょうか。

そこで、自分で「なぜ?」を見つけ、自分で「回答」を調べてみませんか。

大きさは、問いませんが1枚の紙にまとめて作成してみてください。

作品は、学校再開後に順次掲示したり、伸樹祭に出展したいしたいと思います。

4. その他

休業期間中に取り組んだことで、みんなに紹介したいような内容があれば大歓迎です。

**それぞれの作品は、学校が再開した時に担任の先生に提出してください。
場面を考え、大和中学校の生徒に紹介していきます。**

<校長先生・教頭先生・渡辺先生の挑戦>

ホタルは、6月ごろに成虫になり飛びますが今はまだ幼虫です。

今回は、平家ホタルの飼育に挑戦します。

4月21日(火)水槽代わりに衣装ケースなど
を買いそろえました。

